



ゲスト:久田恵(ひさだ・めぐみ)

1947年北海道室蘭市生まれ。上智大学文学部中退後、アルバイトで生計をたてる。人形劇団「ひとみ座」で台本を書いたことがきっかけで執筆活動に入る。テレビの子ども番組などの台本、化粧品会社のPR誌の記者などを経てノンフィクション作家に。子どもが3歳の時に離婚し、キグレサーカスで1年間炊事係をした経験もある。1992年に『フィリッペーナを愛した男たち』(文藝春秋)で第21回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。その他『母親が仕事をもつとき』(学陽書房)、『サーカス村裏通り』(文藝春秋)、『ニッポン貧困最前線』(文藝春秋)、『繁栄TOKYO裏通り』(文藝春秋)など著書多数。

## けあコミでもエッセイを書いていた久田恵さん作品の映画化 母のいる場所



### 母のいる場所

- 監督 槇坪多鶴子
- 原作 久田恵「母のいる場所～シルバーヴィラ向山物語」
- 企画・製作 パオ
- 出演 紺野美沙子、馬淵晴子、野川由美子、米倉多加年、小林桂樹
- URL <http://www.pao-jp.com/movie/haha.htm>

フリーライターでシングルマザーの45歳の主人公・泉は7年間、右半身不随の母の介護と子育て、そして仕事に追われる。70歳まで仕事人間だった独断的で頑固な父とは、介護をめぐって終始喧嘩が絶えない。小学生の息子は、チック症になり、「僕にはお母さんがいない」と作文に書く……。高校に入ると、すぐ不登校になった。泉はユニークな有料老人ホームの施設長に会い、入所を選択する……。 「Noを言わない」のがホームの方針で、認知症の人を、「お分かりにならない方」と呼び、酒もタバコも恋愛も自由、入居者もスタッフも“ともにいきいき輝いて”暮らしている。やがて母は笑顔を取り戻し、そこが「母の居場所」となる。

岩城 隆就(いわき たかなり)

株式会社さんわ 代表取締役社長

1951年生まれ。1974年北海道大学工学部卒業後、三菱商事(株)本社入社。ロンドン駐在を含め17年間プラント輸出業務に従事し、1990年本社重電機輸出部アジア第一チーム課長。1991年同社を退職し、高齢者ホーム草創の礎である有料老人ホーム「シルバーヴィラ向山」を運営する(株)さんわに入社。増築を続ける中で、1997年コレクティブハウス「アブランドル向山」を開設。両施設とも、質の高い介護サービスが付いた“長期滞在型ホテル”を謳う。2000年同社代表取締役就任。社会福祉法人創生(「土支田創生苑」開設・運営)の設立にも携わり、2004年9月まで理事長を兼務。ほかに(社)福祉社会研究所理事も務める。介護支援専門員、社会福祉士。